

「地域・市民社会における子ども支援」を考える:いま「子どもの居場所」は？
—子どもの権利条約採択 30 年・批准 25 年を経て「コロナ」の中で—

子どもの権利条約総合研究所
公益社団法人子ども情報研究センター

本研究会は「子ども支援」をテーマに 2005 年から始まり、毎年 2 回開催してきました。しかし本年 2 月の研究会は、新型コロナウイルス感染症の状況から中止となりました。この 15 年、本研究会は一貫して、子ども支援のために何が必要か、何ができるのか——そのアプローチを明らかにすることを目的に取り組んできました。それだけに、じつは現下のような状況においてこそ、本研究会の営みは、改めて開始されなければならない、と考えました。そこで、本年 2 月に一旦中止しておりました標記テーマの研究会について、これを下記により開催します。新たに Zoom を活用したウェブ参加も試みることにしました。子どもの権利条約の国連採択(1989 年)から 30 年、日本批准(1994 年)から四半世紀を経て、けれども未だ子どもの権利の視点は、私たちの社会に根付いていないといえません。いま、「コロナ禍」と呼ばれる状況——「全国一斉休校」に始まり「ステイホーム」や「Go To トラベル」等々政治の無策と先行き不安の募る中——において、とりわけ「子どもにとっての居場所」は、一層深刻で、重要な課題となっています。ともに考えたいと思います。

□日時	2020 年 12 月 19 日(土) 13:30~16:30 (受付 13:00 から)
□テーマ	「地域・市民社会における子ども支援」を考える:いま「子どもの居場所」は？
□内容	(当日のタイムスケジュールは別紙をご参照下さい)
基調	子どもの権利条約批准 25 年の経過と「子ども支援」 吉永 省三 (千里金蘭大学)
報告(1)	地域だからできる子ども支援の取り組み ——市民参加でつくる多世代居場所づくり 10 年の経験から 報告者 水木 千代美 (さたけん家主宰代表) 2011 年から吹田市佐竹台で多世代の居場所「さたけん家」を運営。親子の居場所「おひさまクラブ」、小中高生の学習支援「さたけ教室」、おとなから仕事の話聞く「JOBCAFE」、生きる力を育む「ゆめのみ教室」(小学生対象)などを実施。
報告(2)	子どもに直接届く「子ども支援」を地域に 報告者 西川 奈央人 (NPO 法人西淀川子どもセンター代表理事) 2007 年から大阪市西淀川区で「子どもが気軽に相談に来られる場所を地域に」との思いから子どもの居場所づくりに取り組む。「いっしょにごはん!食ベナイト?」(子どもの居場所活動)など、子どもに直接届く「子ども支援」の活動を展開中。
質疑と討議	コーディネーター 浜田 進士 (子どもの権利条約総合研究所) 田中 文子 (子ども情報研究センター)
□参加方法	①Zoom 配信 (定員なし): 配信リンクを講座前日までに案内 ②会場 (定員 30 人): HRC ビル 5 階ホール(裏面地図参照)
□参加費	800 円 (子ども情報研究センター正会員 600 円) ①Zoom 参加者: 事前振込 ②会場参加者: 当日受付について現金払い
□申込方法	締切 12 月 14 日(月) ※参加申込方法、参加費お支払い方法は別紙をご覧ください。

◆参加申込方法

以下2種類のうち、どちらかの方法でお申し込みください。

1. 右 QR コードを読み取って申し込む。
2. E メールまたは電話・FAX で申し込む。

お名前、電話番号、ご所属、参加方法、配慮事項等を
下記子ども情報研究センターまでご連絡ください。



※〆切は12月14日（月）。申込順とさせていただきます。

※ご事情があつてキャンセルされる場合は前日までにご連絡ください。

当日以降の対応はできかねますのでご了承ください。

※録画・録音・資料の二次使用などはご遠慮ください。

◆Zoom 参加

初めて Zoom に参加される方、参加に不安がある方は、事前にリハーサルを行うなど、ていねいにサポートさせていただきますので、遠慮なく事務局までおたずねください。

- ・参加には、インターネット回線につないだパソコン、タブレット、スマートフォンのいずれかが必要です。あらかじめ、Zoom のアプリケーションのインストールをお済ませください。
- ・Zoom の使用は無料です。
- ・タブレットやスマートフォンでの参加は通信容量が多く発生します。通信料につきましては、参加者負担となりますので、当日までにご自身の通信容量に関する契約をご確認の上、参加をお願いいたします。
- ・参加申込フォームにご登録いただいたメールアドレスに、前日までに参加用の URL をご連絡いたします。前日になってもメールが届かない場合には、恐れ入りますが事務局までご連絡ください。

公益社団法人子ども情報研究センター

TEL 06-4708-7087 FAX 06-4394-8501

E-mail : kenshu @kojoken. jp

◆参加費お支払い方法

Zoom 参加者

下記のいずれかの口座へ開催前日までにお振込みください。振込手数料はご負担ください。

①郵便振替

加入者名：公益社団法人 子ども情報研究センター

口座記号番号：00910-2-300922

②三井住友銀行 難波支店

口座名義：公益社団法人 子ども情報研究センター

口座番号：(普)2218601

会場参加者

当日、受付にて現金でお支払いください。

◆アクセス (HRCビル 大阪市港区波除 4-1-37)

HRCビル 大阪市港区波除 4-1-37

- ・ JR環状線「弁天町」駅北口より 600m(徒歩 8分)
(エレベーターご利用の場合は「弁天町」駅南口から)
- ・ 大阪メトロ中央線「弁天町」駅 4番出口より 700m(徒歩 10分)
- ・ 休日は、ビル入り口の自動扉が開きません。案内掲示にしたがい、通用口あるいはスロープからお入りください。
- ・ 車いす用トイレは9Fにあります。多目的トイレ(簡易ベッド付き)は、当ビルにはございません。



- ・ 入場時にはマスクの着用、手指の消毒、検温にご協力ください。
- ・ 発熱などの症状のある方は参加をお断りする場合がございます。
- ・ 咳やのどに痛みがあるなど、体調不良時のご参加はお控えください。

◆ 2020年12月19日(土) タイムスケジュールとZoom参加方法 ◆

タイムスケジュール	Zoomの状況
13時00分 開場-受付	※13時30分までに、事前に送付したURLから入室ください。
13時15分 Zoom参加の方	
13時30分 開会 ・挨拶 ・本日の進行等説明	※画面に会場の様子が出ます。
13時35分 基調 子どもの権利条約批准25年の経過と「子ども支援」 吉永省三(千里金蘭大学) 1994年の条約批准・発効後の国の動向と自治体での取り組みを概観する中で「子ども支援」の現在における課題をめぐって。	※研究会開始後は、Zoomのインストールなどに起因するトラブルや操作方法等への対応が難しくなりますのでご了承ください。
14時05分 報告(1) 地域だからできる子ども支援の取り組み —市民参加でつくる多世代居場所づくり10年の経験から 報告者 水木千代美(さたけん家主宰代表) 吹田市佐竹台に根づく多世代の居場所「さたけんち」の活動とそこでの子どもたちの活動について紹介するとともに、現在のコロナ禍における活動と、これからの展望について。	※画面に報告者とパワーポイント資料画面が出ます。 ※音声を聞きながら、報告者とパワーポイント資料画面の両方を見ながら、参加いただけます。
14時35分 10分休憩	※メモ等とりながらご参加ください。
14時45分 報告(2) 子どもに直接届く「子ども支援」を地域に 報告者 西川奈央人(NPO法人西淀川子どもセンター代表理事) 西淀川子どもセンターでの夜間サテライト事業を中心に、子どもとの関わり、また地域の子どもの食堂や支援団体とのネットワークについて、そしてコロナ禍で見えてきたことについて。	
15時15分 15分休憩 質問や意見をお寄せいただく。 ※会場参加の方 用紙に記入してご提出ください。	※チャット機能をご使用いただき、質問やご意見をお寄せください。
15時30分 質疑と討議 コーディネーター 浜田進士(子どもの権利条約総合研究所) 田中文字子(子ども情報研究センター)	※報告者のパワーポイント資料が必要な方は、 <u>後日データで送付いたします。事務局までお申し出ください。</u>
16時30分 閉会	